

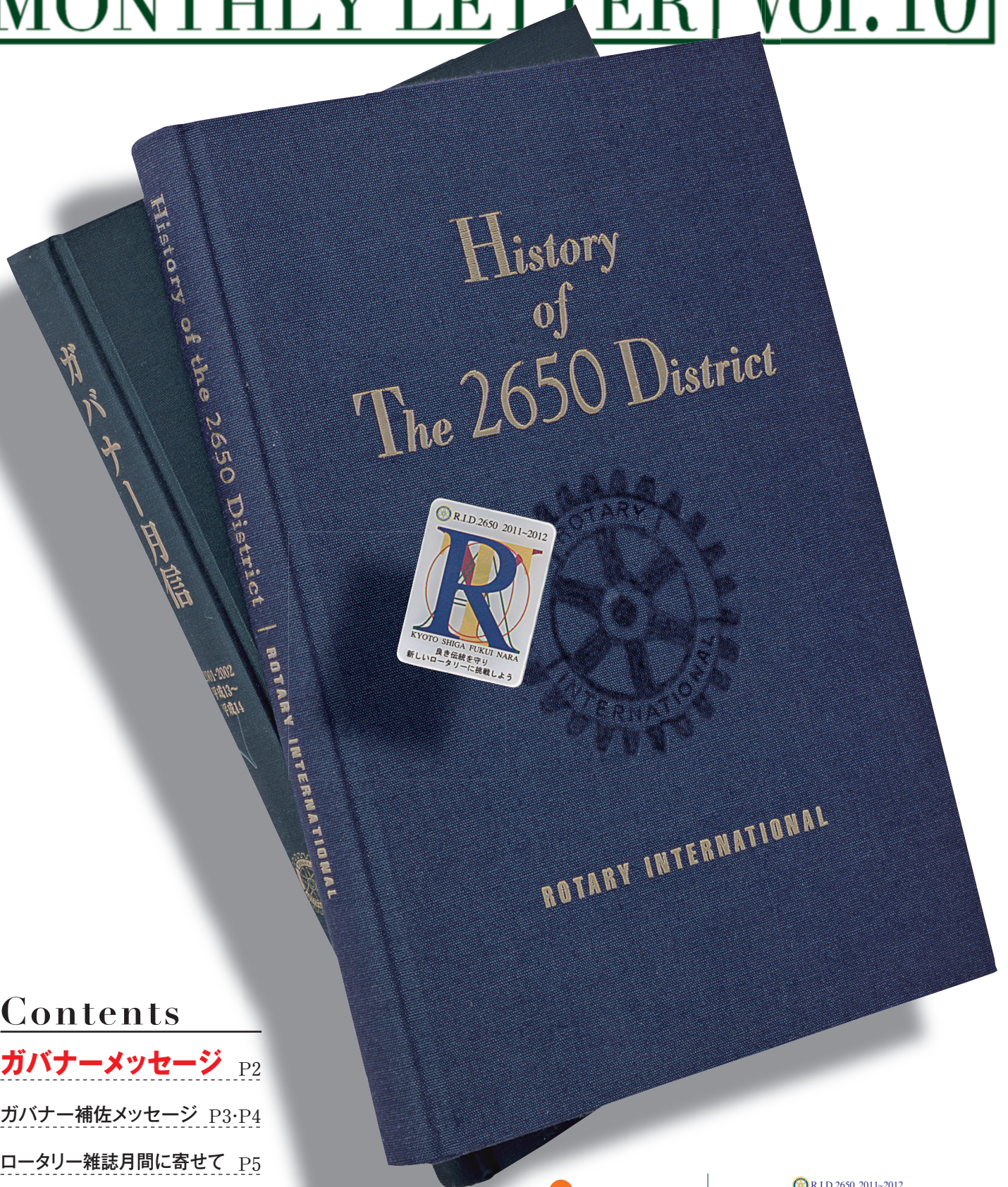
2011~2012 年度 国際ロータリー第 2650 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2012.04.01

Vol.10



Contents

ガバナーメッセージ P2

ガバナー補佐メッセージ P3・P4

ロータリー雑誌月間に寄せて P5

WCSサモアミッション報告 P6

会員数の増減及び出席率表 P7

会員の動き P8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

R.I.D.2650 2011~2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

from GOVERNOR

「ロータリーを広めよう」



2011～2012年度 第2650地区ガバナー 今西 信裕（京都南ロータリークラブ）

ロータリーの活動は、時代の変化を的確に捉えて、「何が重要であり、どんな方法が効果的であるか」という戦略的な方法に重点を絞って、長期的な視野で模索する必要があります。ロータリーは“人々の幸せのために”常に時代に適応した魅力ある存在であり続ける必要があります。そのためには時代の変化を良く知ることが重要です。

国際ロータリーでは、ロータリーの目的とその活動成果をより良く一般の人々に知ってもらうために、「公共イメージと認知度の向上」を戦略計画の優先項目の1つに上げ、具体的な活動として以下のことを目指しております。

「公共イメージと認知度の向上」

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する
- ・職業奉仕を強調する
- ・クラブにおけるネットワーク作りの機会、並びにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

ロータリーやロータリー財団の崇高な目的や活動の成果について、一般の方々の認知度が非常に低いという調査結果に基づき、RIでは活動成果の広報や、イメージとブランドの統一は大変大事な問題と捉えて、長期的コミュニケーション戦略に取り組んでおります。一般の方々にロータリーメッセージを届けるために、facebook、twitterなどのソーシャルコミュニケーションへの新たな取り組みが必要と考えております。そのため、ソーシャルネットワークの開発とブランディングへの取り組みを進め、大規模なコミュニケーション戦略を始めています。新たな予算組みのもとで、公共イメージと認知度の向上に努めております。日本のロータリーでは、従来は「良いことをすれば、人々がいずれ分かってくる」いわゆる「陰徳」が美しい世界でした。しかし、コミュニケーションの世界は、急速に変化し、多様化したソーシャルネットワークが瞬時に誰でも世界と対話できる時代となり、若い人々に魅力と重要性を感じてもらおうロータリーになるには、ソーシャルメディアを活用し、ロータリーブランドを若い人にアピールすることが大切となりました。ブランドは「ロゴ」や「ロータリー」という名前を聞いた時にどのようなイメージ、感情を持つか、直感的な良い印象を与えることが必要です。そういう意味で、ロータリーとは何か、どういう理念、方向性を持って、どんな良いことをしているのか、一般の人々の問いに対し、答えを与えるのがブランドです。

今こそロータリーの組織、アイデンティティーのもとで、ブランドイメージを確立して、ロータリーをより分かりやすくし、ロータリーの良さを知っていただき、一般の人々に認めてもらう時です。ポリオへの取り組みを始め、ロータリーの奉仕の成果がいかにか素晴らしいものであるか、いかに世界で良いことをしているか、世界中の人々に分かっていただけたらと思います。

国際ロータリーのこのような戦略的な、ソーシャルネットワーク戦略、ブランド戦略、エンドポリオナウや6つの重点項目への奉仕事業の集中とその成果のアピールなど、国際ロータリーの組織としてのイメージアップ、認知向上戦略は大変有難いことですが、一方、我々ロータリアンには、一人一人がロータリーの良さをより理解し、ロータリアンとして地道に、ロータリーについて、まず家族に、友人に、会社で、地域社会で語り、ロータリーを知ってもらう努力が必要です。一人のロータリアンが10人の人にロータリーを広めれば、10人の認知を得ます。50人のクラブなら500人に広がります。地区、クラブ全体でこの考えに基づいて行動すれば、地区として、 $4,603 \times 10 = 46,030$ 人の方にロータリーを広められます。皆さんが一致団結し、一緒になって協力すれば、不可能が可能になります。RIでの戦略的な公共イメージ認知度アップ作戦と、一人一人のロータリアンの地道な広報活動が両輪となって、ロータリーを広められれば一番素晴らしいと考えています。また、クラブレベルでも内への広報、外への広報とそれぞれ具体的な活動計画を各クラブで決めておられます。これを確実に実行していただければ必ず成果は現れます。

4月はロータリー雑誌月間です。各クラブの週報、月報、ガバナー月信やロータリーの友などが上梓されています。クラブでは、週報や月報を発行して、会員のコミュニケーションや親睦を深める機会としています。「ロータリーの友」は、ロータリーの公式地域雑誌の一つで、ロータリーの根本精神を学び、ロータリーを正しく理解し、ロータリーに対する認識を深めるのに大変役立つ雑誌です。奉仕のための豊かな知識を得るのに大変役立ちますし、これ一冊を熟読すれば、ロータリーのことになります。ぜひ読んで下さい。

時代の変化とともに、ロータリー広報も大いに様変わりしておりますが、ロータリーの原点を理解し、時代の変化に適応し、将来に渡り輝き続けられるロータリーを作っていくことが、本年度地区テーマ「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」の実行そのものです。一般の皆様がロータリーブランドを十分認知し、ロータリーに対する期待値が高まり、ロータリーの炎がますます熱く燃え続けられるよう、ロータリアン一人一人が活動しましょう。

「それらを上回るもの」

from ASSISTANT GOVERNOR

京都南部担当
ガバナー補佐 小永井 征也
(宇治鳳凰ロータリークラブ)



RI2650地区WCS委員会がポリオ撲滅に向けて活動を始めたのは1995年。以来今日に至るまで18年の永きに亘ってその真摯な活動は先輩諸氏から脈々と引き継がれて来ている。私も1998年のラオスから今日まで数多くの国のミッションに参加させて頂いた。ミッションの目的とするところもポリオ撲滅のためのワクチン投与だけにとどまらず、対象国の現状に対応して様々な内容の支援が行われてきた。それらは保健医療に関わるスタッフの教育であったり、出先の保健所の設備の改善や修繕、医薬品の搬送や係員達の移動に使われる車両やバイク、学校の校舎建設、補修、教育設備の供与、生徒達への学用品、井戸掘りから衛生設備の新設や改良等々数え上げればきりがない程多岐に亘っている。これらは歴代のWCS委員各位の並々ならぬ努力と国連のWHOの協力の賜物で、昨年12月に来日したWPRO(西太平洋地域事務局)のDrシン・ヨンス事務局長はその講演でも、その後の席でも、今西ガバナーを始め地区のロータリアンへ最大級の謝意を表された。RIが世界中で「ポリオフリー」のキャンペーンを開始したのは1985年。それから20余年、現在のポリオ常在国はあと4カ国になっている。もう一息のところまで追いつめて来ているのである。

実際のところWCSのミッション対象国になる国には豊かならざる国が多い。後進国とか貧しい国といった良からぬ呼び方をされる国の多いのは事実だが、実は私は一度として訪問国をそのように極めつけて感じたことは無い。確かに我々は沢山の支援を行い、多くの物品も贈ってきた。それが彼等をポリオの脅威から守り、環境の改善に役立ったことは事実である。しかし訪問する毎にいつも私は「それらを上回るもの」を与えてもらったような気がする。そこには我々が昔持っていて今忘れかけている「豊かな心と時間」がいつもあるから。人々は心から感謝し喜びを表してくれる。そしてなにより嬉しいのは行く度に出会う子供達の眼の輝きとそれを愛おしそうに見つめる母親のまなざし。いまや日本の都会の

大半の子供達から失われてしまったキラキラする眼と、何からいたずらしてやろうかという敏捷な動きであり、それは私自身の子供の頃に当たり前にあった光景だった。

確かに彼等は粗末な服を着て裸足で、時には裸で埃の立つ地道を走り回ってはいるが、いつもその周りには子供が群れ、赤ん坊を抱いた母親が笑顔でそれを眺めている。光の少ない闇の中に沈み込んだような村や町の光景は、夜遅くまで煌々と輝く不夜城のような日本の光景に比べれば貧しいように見える。しかし綺麗な服を着て夜遅くまで学習塾に通い、光の失われたまなざしで疲れて肩を落として電車に乗る日本の子供達とどちらが幸せなのかしばしば考えさせられる。ゲームに熱中して友達との会話も乏しい子供たちや、パソコンに向かって無言で一人きりの時間を過ごす大人たちの姿が文化の先端で先進国と言えるのか、と彼等はいつも迫ってくる。それがお前たちのいう「豊かさ」か？自分たちには十分な時間や温かな人間の繋がり、お互いに助け合う結びつきがあるが、お前たちにそれがあるか？と問いかけてくる。そして『ある！』と胸を張って言えない自分がいつもいる。「豊かさ」とは何か、「幸福」とはどんな事なのか、訪問する度に突きつけられる命題である。彼等の姿に接して自問自答し、反省し、再検証し、確認する旅と時間、それがWCSミッションで私がいつももらって帰る「それらを上回るもの」なのである。



WCSレイテミッション

「繁栄と衰退」

from ASSISTANT GOVERNOR

奈良第二担当
ガバナー補佐 杉田 博義
(桜井ロータリークラブ)

全ての会は増強しなければ衰退して行きます。ロータリアンである以上ロータリーを知る事から始まります。あるバスターガバナーと良く話をするのですが「私は45年皆出席です」と言われました。少し前の話ですが…その基本は何ですか?と聞きますとその人は「私は水曜日はロータリーのために空けているのです。それが皆出席の秘訣であり私のロータリーの基本哲学です」と言われました。私はそれを真似て私も36年間皆出席ですが、これからも続けて行くつもりです。

少し古い話になりますが2000～2001年度のRI会長カルロ・ラビッツアと云う人だっと思いますが「ロータリーには衰退が始まっている。問題は会員の減少にある、結論としてロータリーに魅力がなくなった」と言われました。この言葉が未だに印象に残っています。ロータリーは出席する事が基本であり繁栄と出席、衰退と欠席は一蓮托生と思えます。例会、委員会、地区の会合、出来れば世界大会と、私も一度だけ世界大会に出席した事があります。その時のガバナーは山崎時雄氏でした。2001.4.15発行のガバナー月信Vol.10で「決議23-34」の採択について述べられていたことが記憶に残っています。

話は変わりますが十数年前私は地区の職業奉仕委員をした事があります。当時は確か92クラブぐらいだったと思えますが、職業奉仕の卓話に全クラブを回った事があります。五條クラブから舞鶴クラブ迄2650地区は随分広いなと思えました。その中には現職のガバナーも私の卓話を目の前で聞いておられたこともあり、又のその時の現職のガバナーに頼まれて卓話に行った事もあります。ガバナーの前で卓話をする事となりますと、まして地区役員として卓話をする事と云うことはそれなりの覚悟と知識が必要となります、職業奉仕をわかり易く卓話するのに大変苦勞した事を覚えており、より良き人生経験をしたと思っております。

今回ガバナー補佐も、間もなく2年を向えようとしている今日、補佐の役目も年々重要視され、与えられたテリトリーを遅滞なくカバーして行かなければなりません。なお一層の努力と勉強

が求められています。今日ロータリーはRI会長、2650地区、今西ガバナーも述べられている様に簡素化を求められています。簡素化とは省略する事ではなく世の中で3つなすべき事を2つに、出来れば1つに纏める事を意味します。

これからのロータリーはロータリーの繁栄と魅力とは何をすべきかを考え一人一人が作り出して行かなければなりません。



桜井ロータリークラブ公式訪問



五條ロータリークラブ公式訪問

「感動は自分で取りに行こう」

from DISTRICT CHAIRMAN

地区広報雑誌委員会
委員長 細見 正博
(京都紫竹ロータリークラブ)



ロータリーの広報に決まった方法はありません。広報の方法についてメニューが用意されているわけでもなく、それを具体的にサポートするシステムもありません。

それは逆に言えば、色々な発想で自由に広報ができるという事です。

広報に必要な事は、ロータリーへの情熱・愛情ではないかと、三年間、委員長を務め、痛感しました。

今年はRIからの広報補助金、限度額15,000ドル(うち地区が5000ドル負担します)をいただき

- ①東日本大震災支援番組「ラジオでつなぐ」をレギュラー提供
- ②コミュニティFM局 地区内10局で2月中ロータリーを広報
- ③京都駅前公共地下道ストリートギャラリー両側約30m、25面を使い、ポリオプラス委員会と協力し、ポリオ撲滅「END POLIO NOW」のポスターを展示
- ④ロータリーの誕生日2月23日に京都駅前電光ニュースで、ポリオ撲滅キャンペーンを一日中放映

以上の盛りだくさんのプログラムを実施しました。この背景には「ポリオ撲滅レイテミッション」に参加し取材した経験がありました。

昨年2月WCS委員会と現地タクロバンロータリークラブの共同事業として、国連のWHOの協力のもと、フィリピン・レイテ島でポリオワクチンの投与が行われました。

ポリオワクチン投与の当日、朝早く遠方から来たと思われる母親達が、生後1~2年の子供を抱いて、質素な公会堂に200人程集まっていました。我々一行が公会堂に足を一步踏み入れた時、母親全員の視線が我々に注がれ、貧しい医療環境の下で子供をポリオから守りたいと願う母親の気持ちが切実に伝わってきました。

母親たちの希望に輝く瞳、わずか1~2滴のワクチンによって母と子が幸せになる瞬間は、奉仕する我々をも幸せにし、超我的奉仕の境地に誘う瞬間を経験することができました。

自分が経験したこの奉仕の喜びを、ロータリーの感動を、一人でも多くのロータリアンに伝えることが、広報・雑誌委員会に与えられた大きな責務のひとつだと思いました。

帰国後、この感動を伝えたくて、あらゆる機会を捉えて、写真をコピーし配布したり、DVDに編集しプロジェクターで放映したり、パネルにして展示したりしました。

ロータリアンに感動を伝えたい、この一心でした。

しかし、ある時、自分が伝えたいと思った感動が、聞いている側には、うまく伝わっていない事を知りました。

話し方が悪いのか、声小さかったのか、説明不足なのか…悩む日々が続きました。

そして気づいたのです。自分が経験した感動を経験していない人に、分かってもらうのは、大変難しく無理なことなのだ。

それでは、何故、感動を広報していくのか…

ロータリアンの「奉仕の喜び」とそこから得ることができる感動は、与えられるものではなく、何かをきっかけに、自分で行動を起こすことで、自分で取りに行くものではないでしょうか。

広報は、活動を通じロータリアンが行動を起こすきっかけを作る手伝いをしているのです。

さあ、今年はあなたも感動を自分で取りに行きませんか。



ポリオワクチンを接種してもらい喜ぶ母と子

細見 正博 (ほそみ まさひろ)

ロータリー歴

1991年 7月12日	京都紫竹ロータリークラブ入会
2002年~2003年	クラブ幹事
2003年~2004年	クラブ副会長
2005年~2006年	クラブ会長
2006年~2008年	地区広報・雑誌委員会 委員
2008年~2009年	地区広報・雑誌委員会 副委員長
2009年~	地区広報・雑誌委員会 委員長

国際ロータリー第2650地区2011～2012年度
WCSサモアミッション報告

これまで第2650地区の世界社会奉仕活動として、1995年のカンボジアを皮切りに昨年のフィリピンまで16年間延べ21カ国を訪問してきました。今年度はサモアを支援対象国として、2012年2月26日から3月4日の日程でミッションを開催しました。ロータリーの活動はあくまでもクラブ主体であることは十分に認識しております。しかし、一つのクラブでポリオワクチン投与を含めた保健環境改善支援などと言った事業を行うことは極めて困難なことです。そこで、各クラブの力を集約させるべくこのWCSミッションが作られていると考えています。

我々WCS委員会ではWHO西太平洋地域各国における予防接種を含めた保健環境状況について、各種の国際会議に出席して情報収集しています。その中で言われていることですが、国力が比較的脆弱な国においては、既に同地域で駆除されている感染症であるポリオの予防接種率が70%程度になっているのが現状です。WHOにおいては同接種率を90%以上にすることを推奨していますが、そういったいわゆるイエローカードの国々の予防接種率向上の一助となるのが我々の奉仕活動です。我々のポリオ根絶に対する活動は各国においても高く評価されています。

さて、今回は乗り継ぎの関係で大変タイトな日程で、更に参加費も高額なものとなりましたが、30名の方に参加いただきました。約30時間をかけてオークランドを經由して深夜の1時にサモアに入りました。既に先発で活動していただいたWCS委員の岩本様(奈良東RC)、浦島様(奈良東RC)、WHO佐藤医務官、海外青年協力隊委員などの歓迎を受けホテルへ移動しました。

サモアへの主な支援内容は、①ポリオワクチン投与、②保健環境改善を目的とした車両の贈呈、③水タンクの設置(学校に対して3か所)、④3か所の学校支援(トイレ増築、パソコン贈呈、理科教材および学用品贈呈、など)です。時差ぼけと乗り継ぎによる体調不良もよそに、保健省大臣、保健省次官など保健省関係者などの出席のもと、引き渡し式に引き続いて約30名の子供にポリオワクチン投与を行いました。そして、3日間に亘って合計4か所の学校を訪問し、子供たちと交流を行いました。子供たちの生

き生きとした目・活力に触れることで、感動と共に明日への奉仕や仕事に対する意欲が湧き出るのは私だけではないと思います。また、保健活動のみならず、国際交流、参加者同士の親睦にも繋がるのがこのミッションの魅力と考えます。

最後に、今西ガバナーには強いリーダーシップでこのミッションをご指導いただき心から感謝申し上げます。そして何より参加者の皆様、WCS委員の皆様にも御礼を申し上げます。



報告者:地区WCS委員会
委員長 貴志 英生(福井東ロータリークラブ)

会員数の増減及び出席率表

1月 国際ロータリー第2650地区 2011~2012年度 会員数の増減及び出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
綾部	30	1	0	31	31	3	2	4	98.31	0
福知山	61	0	1	60	59	2	1	3	87.46	0
福知山西南	47	0	0	47	48	0	1	4	97.74	0
亀岡	31	0	0	31	34	0	3	4	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	18	0	1	4	86.77	1
京丹後	28	0	0	28	28	0	0	3	92.73	2
京都	185	0	1	184	183	10	9	3	99.80	0
京都伏見	82	2	0	84	83	7	4	4	82.08	4
京都平安	27	0	0	27	29	0	2	3	72.41	4
京都東	96	1	0	97	99	4	5	4	94.78	0
京都東山	78	0	0	78	78	4	4	4	100.00	2
京都北東	27	2	0	29	29	2	2	3	93.69	0
京都城陽	30	0	0	30	30	1	0	4	100.00	1
京都桂川	30	0	0	30	31	1	2	3	97.48	0
京都北	64	0	1	63	65	0	2	3	96.80	0
京都南	206	0	0	206	211	3	8	3	94.27	0
京都モーション	48	0	0	48	51	0	4	3	90.50	4
京都紫野	60	0	0	60	61	1	2	3	100.00	0
京都市	38	0	0	38	41	0	3	3	100.00	0
京都西	100	0	0	100	105	1	6	3	98.23	0
京都西山	19	0	0	19	19	0	0	4	91.26	1
京都乙訓	31	0	1	30	31	0	1	3	92.98	0
京都洛中	75	0	0	75	75	2	2	4	97.11	0
京都洛北	69	0	0	69	67	3	1	3	90.14	0
京都洛南	31	0	0	31	32	1	2	4	89.52	0
京都洛西	43	0	0	43	44	3	4	4	93.38	6
京都洛東	36	0	1	35	35	1	1	3	87.62	0
京都嵯峨野	26	0	1	25	25	2	2	3	82.33	0
京都さくら	27	0	0	27	27	0	0	4	75.93	6
京都西北	45	1	0	46	45	3	2	3	92.15	0
京都西南	45	0	0	45	47	1	3	4	91.41	4
京都紫竹	37	1	0	38	39	2	3	4	87.62	2
京都朱雀	41	0	0	41	38	4	1	3	82.06	2
京都田辺	21	0	0	21	21	1	1	3	91.23	2
京都山城	38	0	0	38	39	0	1	3	99.07	0
京都八幡	28	0	0	28	29	1	2	4	93.00	1
舞鶴	25	0	0	25	25	1	0	4	91.34	0
舞鶴東	45	0	0	45	43	3	1	3	89.11	0
宮津	38	0	0	38	37	1	0	4	92.51	0
園部	25	0	0	25	25	0	0	3	98.55	0
宇治	36	1	0	37	38	1	2	4	98.53	0
宇治鳳凰	48	0	0	48	46	2	0	3	97.86	4
小計	2,114	9	6	2,117	2,141	71	90	3.5	92.57	46

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
あすか	52	0	0	52	52	0	0	3	85.77	0
五條	29	0	0	29	29	1	1	4	94.44	1
平城京	32	1	0	33	33	2	2	3	84.52	3
生駒	29	1	0	30	26	4	0	3	82.55	1
橿原	58	1	0	59	62	3	5	4	75.19	2
奈良	143	1	0	144	140	5	1	4	98.19	4
奈良東	43	0	0	43	40	3	0	3	91.20	0
奈良西	46	0	0	46	45	2	1	3	94.44	2
奈良大宮	69	1	0	70	69	4	3	4	96.53	0
王寺	20	0	0	20	20	0	0	4	89.58	2
桜井	35	0	0	35	37	0	2	3	87.26	0
大和郡山	52	2	0	54	52	2	0	3	89.33	0
大和高田	93	0	0	93	92	2	1	3	92.76	2
小計	701	7	0	708	697	28	16	3.4	89.37	17

■表作成にあたって
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
 ・入退会者数、1月末会員数および入退会者累計数は1月末現在です。
 ・「期首会員数」は、2011年7月1日現在の会員数です。

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
福井	106	2	0	108	113	3	8	3	67.71	4
福井あじさい	54	0	0	54	50	7	1	3	70.75	4
福井フエックス	41	0	0	41	41	3	3	4	85.37	8
福井東	30	2	0	32	30	2	0	3	83.48	2
福井北	110	1	1	110	111	4	5	3	85.67	6
福井南	46	0	1	45	46	0	1	4	80.03	0
福井西	29	0	0	29	29	2	2	3	88.84	0
福井水仙	21	0	0	21	22	0	1	4	60.71	1
勝山	31	0	0	31	30	1	0	4	91.94	3
丸岡	40	0	0	40	40	0	0	3	92.39	0
三国	29	0	1	28	30	0	2	4	87.90	4
大野	30	2	0	32	31	3	2	4	83.60	2
鯖江	32	1	0	33	33	1	1	4	78.09	0
鯖江北	16	0	0	16	16	0	0	3	73.33	0
武生	60	1	0	61	62	2	3	4	82.95	4
武生府中	34	0	0	34	33	2	1	4	94.12	0
敦賀	37	0	0	37	36	3	2	3	86.41	0
敦賀西	20	0	0	20	20	0	0	3	91.67	1
若狭	29	0	0	29	29	1	1	3	97.48	0
小計	795	9	3	801	802	34	33	3.5	83.29	39

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
びわ湖八幡	48	0	0	48	46	2	0	4	96.24	2
五個荘能登川	18	0	0	18	22	0	4	3	75.27	0
東近江	41	0	0	41	41	1	1	3	89.99	0
彦根	66	0	0	66	65	4	3	3	93.55	4
彦根南	68	0	0	68	67	2	1	4	95.07	0
湖南	35	0	0	35	34	2	0	4	87.90	2
草津	39	0	0	39	39	1	1	3	89.44	0
水口	41	0	0	41	39	3	1	4	98.61	0
守山	43	0	0	43	45	1	3	4	92.86	0
長浜	60	3	0	63	57	7	1	3	98.31	0
長浜東	65	1	0	66	63	4	2	3	89.38	0
長浜北	27	0	0	27	26	1	0	4	81.73	0
近江八幡	48	0	0	48	47	1	0	3	92.54	1
大津	102	2	0	104	97	9	2	4	97.94	0
大津中央	25	1	0	26	28	1	3	4	80.77	1
大津東	24	1	0	25	23	3	1	3	88.95	2
大津唐橋	16	0	0	16	18	0	2	4	89.06	0
大津西	24	0	0	24	23	1	0	3	92.20	0
栗東	31	0	0	31	32	2	2	3	87.43	1
高島	42	0	0	42	42	1	1	3	96.11	1
野洲	33	0	0	33	31	2	0	4	87.88	0
八日市南	51	0	0	51	53	0	2	3	81.64	2
小計	947	8	0	955	938	48	30	3.5	90.13	16

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ 2650	42	1	0	43	38	7	2	3	96.90	6
小計	42	1	0	43	38	7	2	3	96.90	6

合計 (97クラブ)

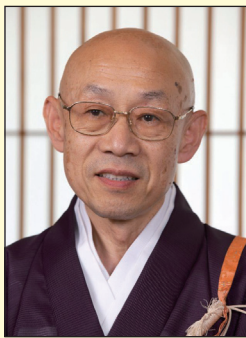
クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
小計	4,559	34	9	4,624	4,616	188	171	3.4	89.81	124

※月信9号に掲載しました2011年12月会員数の増減及び出席率表に変更がありましたのでお知らせします。
 2011年12月会員数の増減および出席率表 【綾部RC退会:誤「0」→正「1」、12月末会員数:誤「31」→「30」、退会累計:誤「1」→「2】京都府の小計も修正されます。【平城京RC退会:誤「0」→正「1」、12月末会員数:誤「33」→正「32」、退会累計:誤「1」→正「2」、女性会員数:誤「4」→正「3】奈良県の小計も修正されます。合計の12月末会員数は4,599、退会累計は162、女性会員数は122となります。詳しくはホームページの修正版をご覧ください。

国際ロータリー第2650地区 2014～2015年度 ガバナーの決定

国際ロータリー第2650地区2014～2015年度ガバナーについて、国際ロータリー細則13.020.6に基づき去る2月22日付にて地区公示を行いましたところ、公示期限の3月6日までに対抗候補者の届出がありませんでした。つきましては、地区ガバナー指名委員会が推薦した候補者 北河原公敬君（奈良大宮ロータリークラブ会員）を、国際ロータリー細則13.020.10により2014～2015年度当地区ガバナーに決定したことを宣言します。

第2650地区ガバナー 今西信裕



きたかわら こうけい
北河原 公敬
生年月日 1943年5月9日
学歴 学習院高等科卒業
龍谷大学大学院
(国史学)
修士課程修了
職業 華厳宗管長
第220世東大寺別当
職業分類 宗教 仏教

経歴

1971年5月 東大寺塔頭総持院住職・勸学院副院長
1987年4月 東大寺塔頭中性院住職(現在まで)・寺務所録事
1999年4月 華厳宗教学部長・東大寺教学執事、(兼)東大寺図書館長
2000年8月 華厳宗庶務部長・東大寺庶務執事
2004年5月 華厳宗宗務長・東大寺執事長
2007年5月 上院院主・東大寺学園理事長
2010年5月 華厳宗管長・第220世東大寺別当(現職)

ロータリー歴

1988年 入会
1993-1994年度 地区社会奉仕委員会委員
1994-1995年度 国際奉仕委員長
1995-1996年度 会員増強委員長
1998-1999年度 職業奉仕委員長
2001-2002年度 青少年活動委員長
2002-2003年度 会長エレクト
2003-2004年度 創立25周年会長

資格・その他の役職

資格 大僧正
会 員 全日本仏教会(副会長)
神仏霊場会(副会長)
関西ホッケー協会(会長)
関西桜友会(学習院同窓会)会長

1月 国際ロータリー第2650地区 2011～2012年度 会員の動き

1月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
鯖江	深見 泰和	飲食業
大野	前田 初蔵	電気工事
大野	指岡 市雄	住宅建材加工販売
武生	三嶋 悦子	税理士
福井	朝倉 真博	商業銀行
福井	清水 正一	広告代理業
福井東	下谷 政弘	教育 公立大学
福井東	旭 信昭	教育 科学
福井北	岡本 一夫	信用金庫
大津	有川 正美	住宅販売
大津	今井 正人	税理士
大津中央	小島 亨	新聞販売
大津東	木村 武史	伝統家紋工芸
長浜	野本 浩司	保険業
長浜	馬場 鋭州	不動産売買
長浜	青木 甚浩	農業
長浜東	上羽 輝明	ホテル

クラブ名	氏名	職業分類
綾部	尾上 優介	介護老人保健施設
宇治	安充 好宏	社会保険労務士
京都紫竹	田中 元子	リサイクル総合プロフェッサー
京都西北	杉山 智晴	携帯電話販売
京都東	山岸 久一	医学
京都伏見	本田 顕哲	歯科医
京都伏見	山本 章雄	倉庫業
京都北東	藤原 隆	建築板金
京都北東	岡本 泰一	観光旅館
檀原	速水 良照	百貨店
生駒	川上 泰秀	公認会計士
大和郡山	上田 昌功	幼稚園
大和郡山	亀井 長彦	不動産賃貸
奈良	河口 陽一	保険代理業
奈良大宮	中野 能洋	生命保険
平城京	中川 茂宣	建設業
日本ロータリー Eクラブ2650	菊池 将史	情報サービス業

1月退会者一覧

クラブ名	氏名
三国	奥中 康師郎
福井南	山崎 信一
福井北	山際 喜一
京都	丸尾 真哉
京都北	倉地 省吾
京都洛東	人見 比呂司
綾部	宮本 太資 ▲
平城京	森山 朋子 ▲

▲ 12月退会者

1月ご逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます		
クラブ名	氏名	日付・年齢
京都乙訓	若山 楠忠	ご逝去 享年70歳
京都嵯峨野	西邑 泰宣	ご逝去 享年62歳
福知山	吉田 裕平	ご逝去 享年59歳



国際ロータリー第2650地区 ホームページの紹介

第2650地区のホームページ

<http://www.rid2650.gr.jp/>

第2650地区のホームページが新しくなりました。各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告等、様々なメッセージ等を掲載いたします。是非ご覧になってください。



Kyoto/Fukui/Shiga/Nara
R.I.D.2650
2011-2012

国際ロータリー第2650地区
2011-2012年度 **ガバナー 今西信裕**

■ガバナー事務所
〒600-8216
京都市下京区塩小路通烏丸西入東小路町614番地
新京都市センタービル5階520号室
TEL.075-343-2650 FAX.075-343-2651
E-mail:gov2011-12@rid2650.gr.jp